

再生可能エネルギーって得なの？日本のエネルギーはようになるの？
そんな疑問にわかりやすくお答えします！

日本機械学会におきましては、材料力学部門カンファレンス M&M2014 を福島大学において開催し、我が国におけるものづくりの学術的研究を実施する研究者が一堂に会して研究成果を交流することとなりました。これを記念して、日本機械学会および本部門の取り組みを紹介するとともに、近年、大きく注目されている再生可能エネルギー関わる先駆的な取り組みについて企業や研究機関の研究者によるわかりやすい講演会を開催して、市民のかたがたに科学技術へのいっそうのご理解を賜りたく存じます。

下記のとおり、ご案内いたしますので、ぜひご来場をいただきますようお願いいたします。

記

1) 開催日時：平成 26 年 7 月 18 日（金）18 時より、終了予定 20 時

2) 開催場所：福島県福島市三河南町 1-20

コラッセふくしま 4 階多目的ホール（200 人収容）

<http://www.corasse.com/>, JR 福島駅西口より徒歩 3 分

3) プログラム

18:00 主催者挨拶

18:10~19:00

「再生可能エネルギーの普及に向けて～どうなる日本のエネルギー～」

講師：福江一郎氏（三菱重工業（株）特別顧問）

概要：日本の再生可能エネルギーは、手厚い F I T 制度により、太陽光を中心に設置が急増し、将来の過度な負担増が心配され始めた。一方で、原子力停止、火力発電依存により、CO₂排出の増加、燃料輸入の急増による貿易赤字など、問題点も噴出している。再生可能エネルギーの普及と経済のバランス、日本の正しい選択について考える。

19:10~20:00 「再生可能エネルギーと産総研の役割」

講師：近藤道雄氏（独立行政法人産業技術総合研究所

福島再生可能エネルギー研究所、所長代理）

概要：東日本大震災以来、再生可能エネルギーに対する期待は大いに高まっており、電力の固定価格買取制度により、太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの導入も急速に高まっている。福島県も例外ではない。しかしその一方で再生可能エネルギーの課題も明らかになりつつある。これからの再生可能エネルギー技術の動向と、産総研として果たすべき役割について議論したい。

4) 参加費： 無 料（福島市補助金助成事業）

5) 問合せ先

〒960-1296 福島県福島市金谷川 1 福島大学共生システム理工学類
日本機械学会 材料力学カンファレンス M&M2014 実行委員会
E-mail: mm2014@ipc.fukushima-u.ac.jp （小沢喜仁）

以上